

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：長崎振興局都市計画課

担当課長名：山口 祐樹

事業名	都市計画道路 滑石町線 (大神宮工区)		事業区分	主要地方道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県長崎市滑石2丁目 至：長崎県長崎市滑石4丁目		延長		0.85km	
事業概要	本路線は、国道206号と新長崎漁港を結ぶ主要地方道長崎畝刈線の一部である。沿線に住宅団地が位置するほか、新長崎漁港周辺においても宅地開発が進んだことにより、交通容量不足による慢性的な渋滞が発生している。本事業により現道2車線から4車線に拡幅整備を行い、交通環境の改善を図るものである。					
H23年度事業化	都市計画決定 あり		H24年度用地着手		H25年度工事着手	
全体事業費	67億円		事業進捗率	72%	供用済延長	—
計画交通量	26,200台/日 (R22)					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.18 (残事業) 11.51	総費用 (残事業)/(事業全体) 18.7/183.1億円 〔 事業費：18.36/182.8億円 維持管理費：0.34/0.34億円 〕	総便益 (残事業)/(事業全体) 215.3/215.3億円 〔 走行時間短縮便益：205.9/205.9億円 走行費用減少便益：8.3/8.3億円 交通事故減少便益：1.2/1.2億円 〕	基準年 令和5年		
感度分析の結果	【全体事業】交通量変動：B/C=1.06~1.29 (交通量 ±10%) 【残事業】B/C=10.36~12.66 (交通量 ±10%) 事業費変動：B/C=1.16~1.19 (事業費 ±10%) B/C=10.48~12.77 (事業費 ±10%) 事業期間変動：B/C=1.16~1.19 (事業期間±1年) B/C=9.44~14.68 (事業期間±1年)					
事業の効果等	・交通の円滑化と良好な都市環境が創造され、賑わいのあるまちづくりが推進される。					
関係する地方公共団体等の意見	・地域の活性化に大きく寄与するものとして早期実現が望まれる。					
事業評価監査委員会の意見	—					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	—					
事業の進捗状況、残事業の内容	令和4年度末までの全体進捗率は72%であり、用地における進捗率は90%である。今後も、継続して用地取得や本工事を行い、令和8年度の事業完成を目指す。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・施工時間帯の制限等による工程見直しや相続問題による用地取得難航により不測の日数を要しているが、令和8年度完成に向けて、用地買収・工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等	特になし。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性を考慮した場合、事業継続が妥当と判断される。					
● 事業概要図	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 25%;"> <p>位置図</p> <p>事業箇所</p> </div> <div style="width: 50%;"> </div> <div style="width: 20%;"> <p>標準断面図</p> </div> </div>					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用と総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

令和5年度 第3回 長崎県公共事業評価監視委員会

再評価対象事業

道建-3 街路事業
都市計画道路
滑石町線(大神宮工区)

事業主体 長崎県

再評価の理由 再評価後変更(工期)



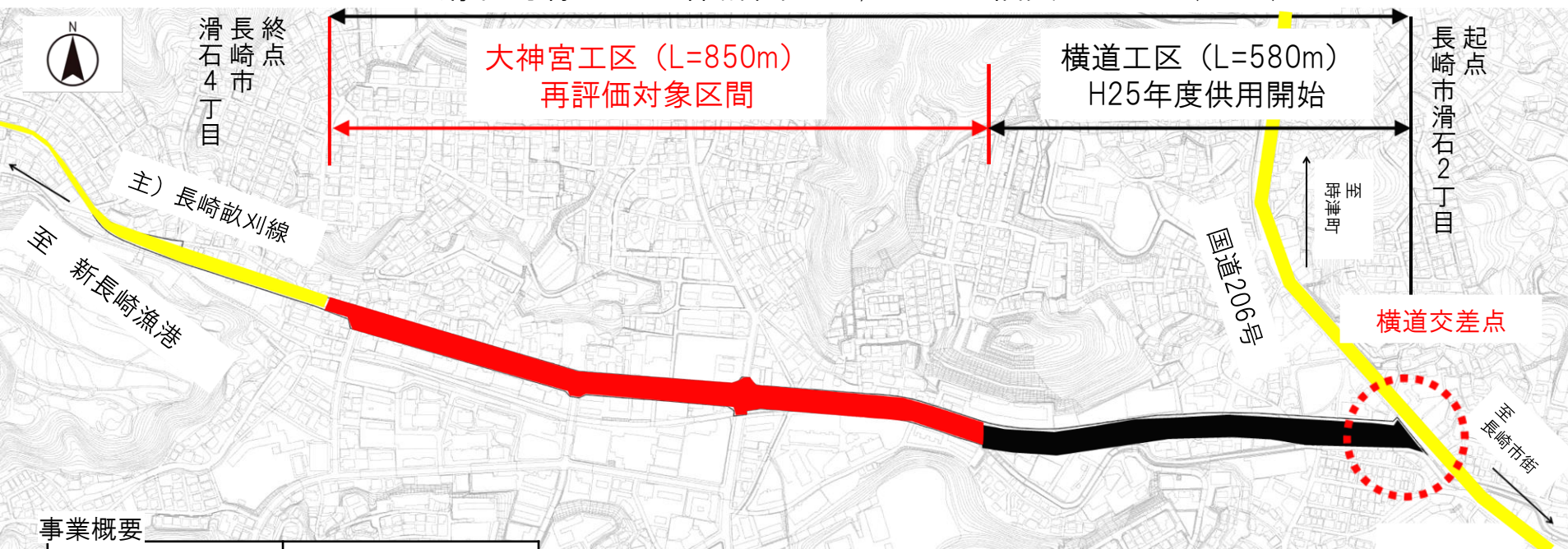
1. 審議経過

審議経過	再評価の理由	工期		事業費 (億円)	B / C	備考
		着工	完了			
当初 (H23新規評価)	—	H23	R1	60.0	1.70	【工事概要】 延長850m 幅員13.0 (30.0) m
第2回審議 (R2年度)	事業採択後 10年経過 (事業費・工期)	H23	R6	67.0	1.15	【前回評価からの変更概要】 ・用地補償費の増 ・大型補償物件の移設手法、代 替地検討による工期延長
第3回審議 (R5年度)	再評価後変更 (工期)	H23	R8	67.0	1.18	【前回評価からの変更概要】 ・施工時間帯の制限に伴う工程 見直し、用地取得の遅延による 工期延長

2. 目的・事業概要・これまでの経緯

- ◆目的 慢性的な渋滞が発生しているため、現道2車線から4車線に拡幅整備を行うことで、交通環境の改善を図るものである。

滑石町線 全体計画 L=1,430m 幅員 W=13.0(30.0)m

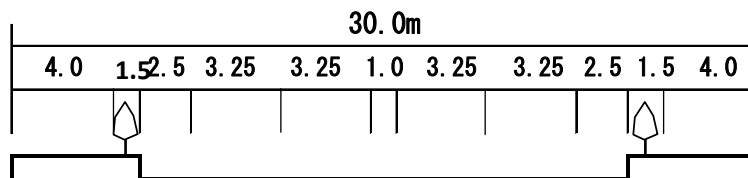


事業概要

計画延長等	L=1.43km
幅員	W=13.0(30.0)m
計画交通量(R22)	26,200台

事業進捗率 72%(事業費ベース)
 用地進捗率 90%(面積ベース)
 【R5.11末現在】

標準断面図



凡例

整備中	
整備済	
現道	

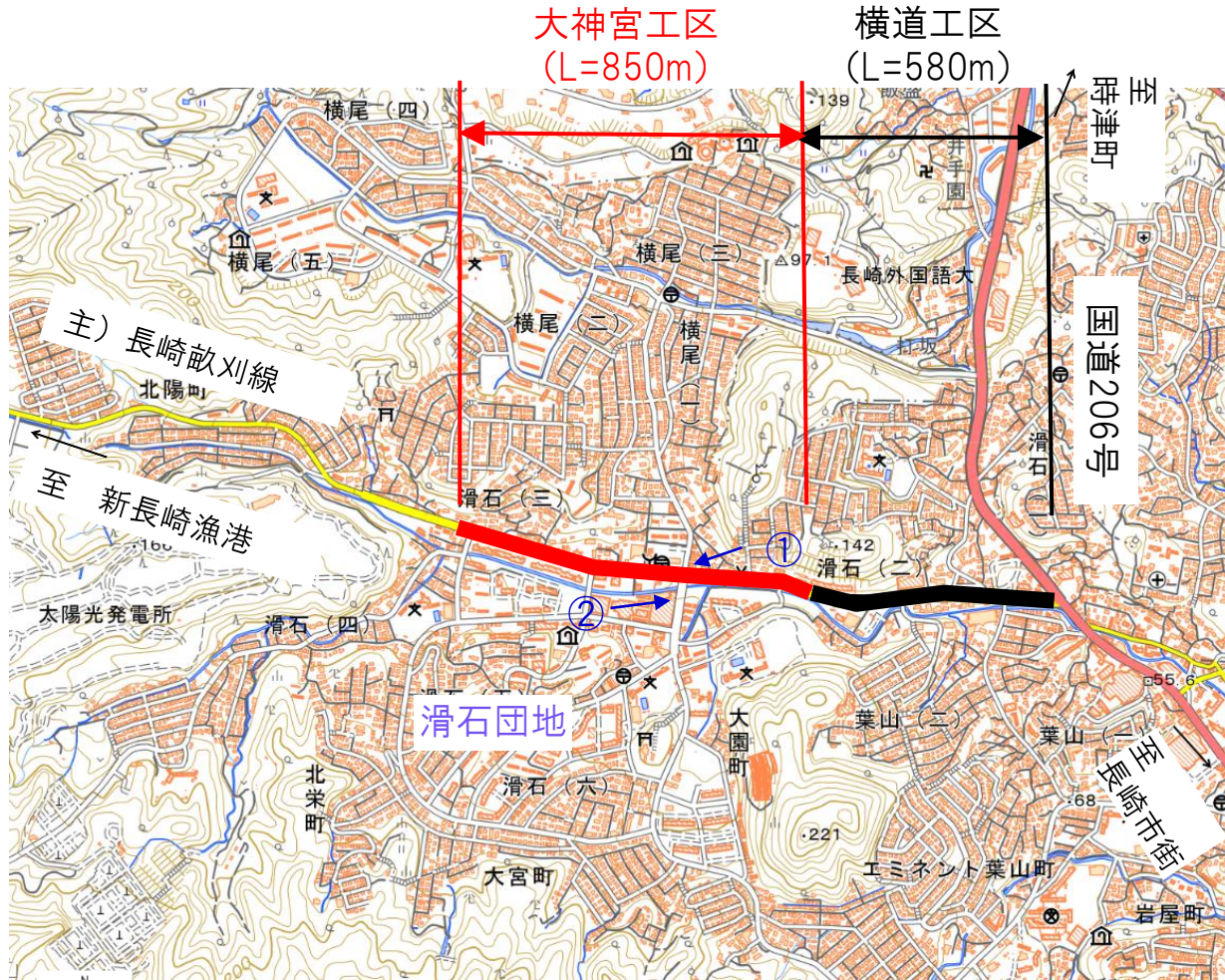
事業経過 (大神宮工区)

平成23年度	事業化
平成24年度	用地買収着手
平成25年度	工事着手

3. 事業の効果・必要性

<交通環境の改善>

沿線に住宅団地が位置するほか、郊外では新長崎漁港周辺で宅地開発が進むなど、交通容量不足による慢性的な渋滞が発生しており、円滑な交通が確保されていない状況にある。



渋滞状況

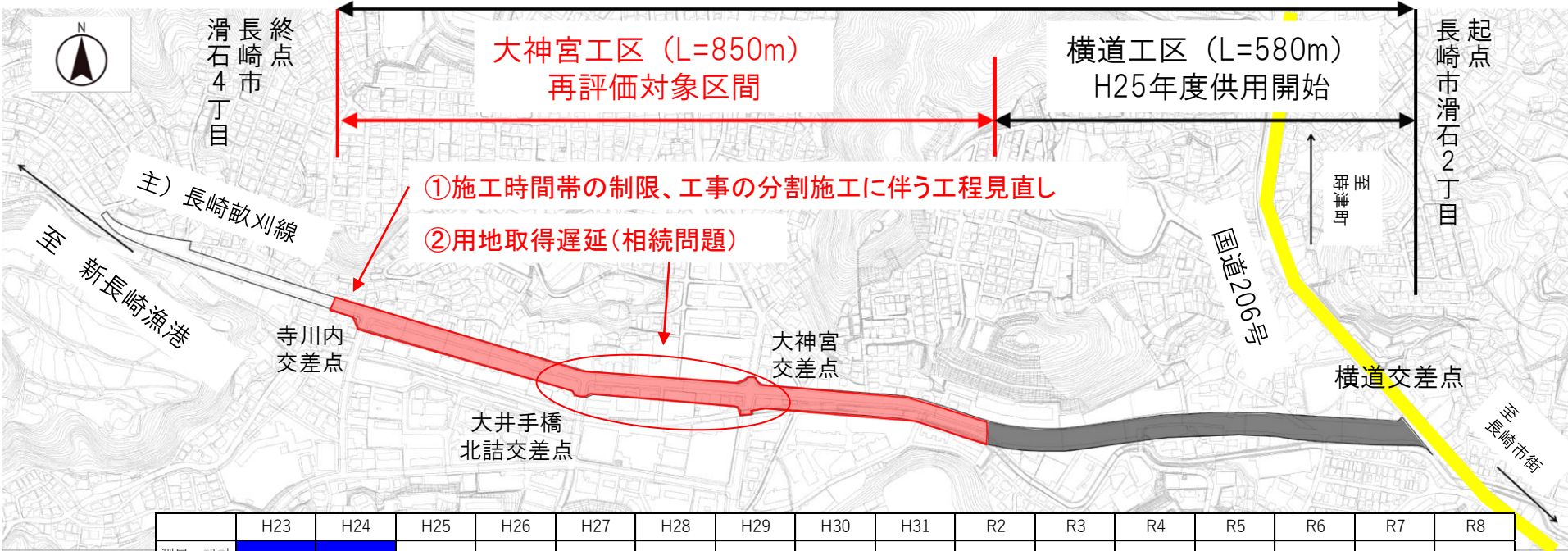


4. 事業の進捗状況(事業期間の見直し)

【完了工期】R6(前回) ⇒ R8(今回)

- 施工時間帯の制限、工事の分割施工に伴う工程見直し
- 用地取得遅延(相続問題)

滑石町線 全体計画 L=1,430m 幅員 W=13.0(30.0)m



- ① 施工時間帯の制限、工事の分割施工に伴う工程見直し
- ② 用地取得遅延(相続問題)

前回



今回

	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
測量・設計	■	■														
用地補償		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
工事			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		
測量・設計	■	■														
用地補償		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
工事			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

4. 事業の進捗状況(工事範囲の分割施工)



当初：15~20m間隔 → 変更：利用状況に合わせ、5m~20m間隔

乗入れのための養生や安全施設の移動等の段取り変えに時間を要する。



5. 事業の投資効果

◆ 費用対効果(B/C)

項目	前回評価 (令和2年度)	今回評価 (令和5年度)
残事業	6.32 = 176.4億円 / 27.9億円	11.51 = 215.3億円 / 18.7億円
全事業	1.15 = 176.4億円 / 153.8億円	1.18 = 215.3億円 / 183.1億円

[費用]

- ・道路整備に要する事業費、道路維持管理に要する費用

[便益]

- ・走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少

[プラス要因]

- ・費用便益分析マニュアルの改訂
→原単位(価格)の増加

[マイナス要因]

- ・事業期間の延長
- ・計画交通量の減

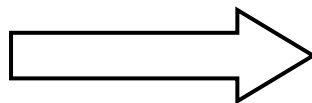
◆ B/Cでは計測できない効果

- ・沿線地域の生活環境改善(快適な歩行空間の確保)

6. 対応方針(原案)

- ◆ 渋滞など交通環境が悪化しているため、現道2車線から4車線へ拡幅し、交通の円滑化を図る事業である。
- ◆ 事業進捗率は事業費ベースで約72% [48.4億円/67.0億円]であり、用地進捗率は面積ベースで約90%となっている。(令和5年11月末現在)
- ◆ 隣接している横道工区(580m)はH25年度に完成しており、引き続き、大神宮工区(850m)を整備することで、より高い効果が期待できる。
- ◆ 事業期間の延長はあるものの、費用対効果が見込まれる。

対応方針
(原案)



継続